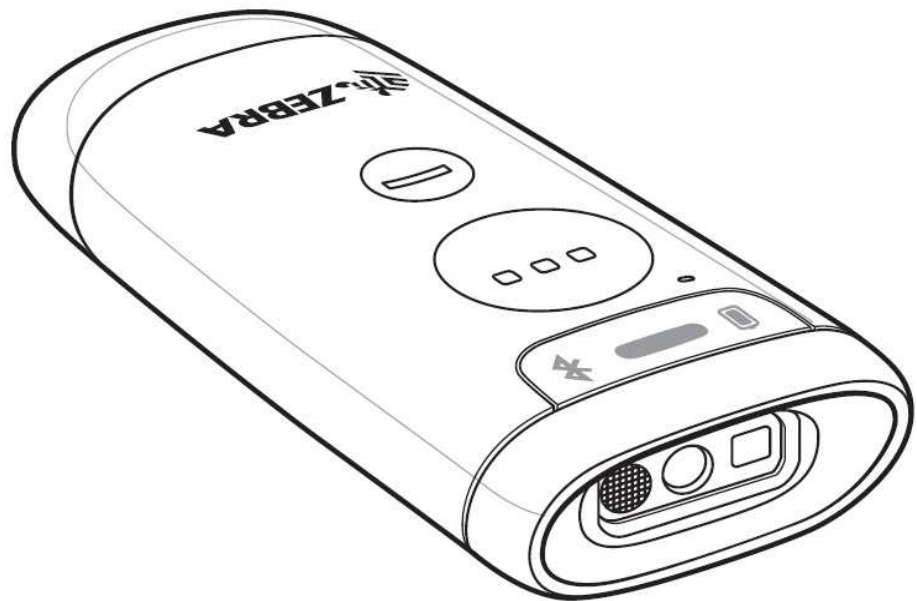




# デジタルスキャナ CS6080

## かんたんスタートガイド



**b brain** Department of Auto ID

# はじめに

このたびはコンパニオンスキャナCS6080（以下、本製品）をお選びいただき誠にありがとうございます。

本ガイドは、初めてのお客様でも本製品を簡単に使い始めていただけるように、基本的な使いかたに絞って説明しています。

なお、機種やバージョンにより、実際の製品と本ガイドの記載内容が異なることがあります。

## バッテリーに関するご注意

- ・ 指定された充電器以外では充電しないでください。
- ・ 火の中に入れてください。また、ショートさせたり、分解しないでください。
- ・ 指定温度範囲を超える高温または低温で充電しないでください。
- ・ 火の近くや炎天下などに放置しないでください。
- ・ 水やその他の液体で濡らさないでください。
- ・ バッテリーパックから漏れた液が目に入った場合は、きれいな水で洗った後、直ちに医師に相談してください。

## 製品保証

本製品の本体無償保証期間は3年間（36ヶ月）です。

※バッテリーおよびケーブルなどのアクセサリは本体の製品保証に含まれません。

## お願い

本ガイド内には、本製品を設定するためのバーコードが記載されています。

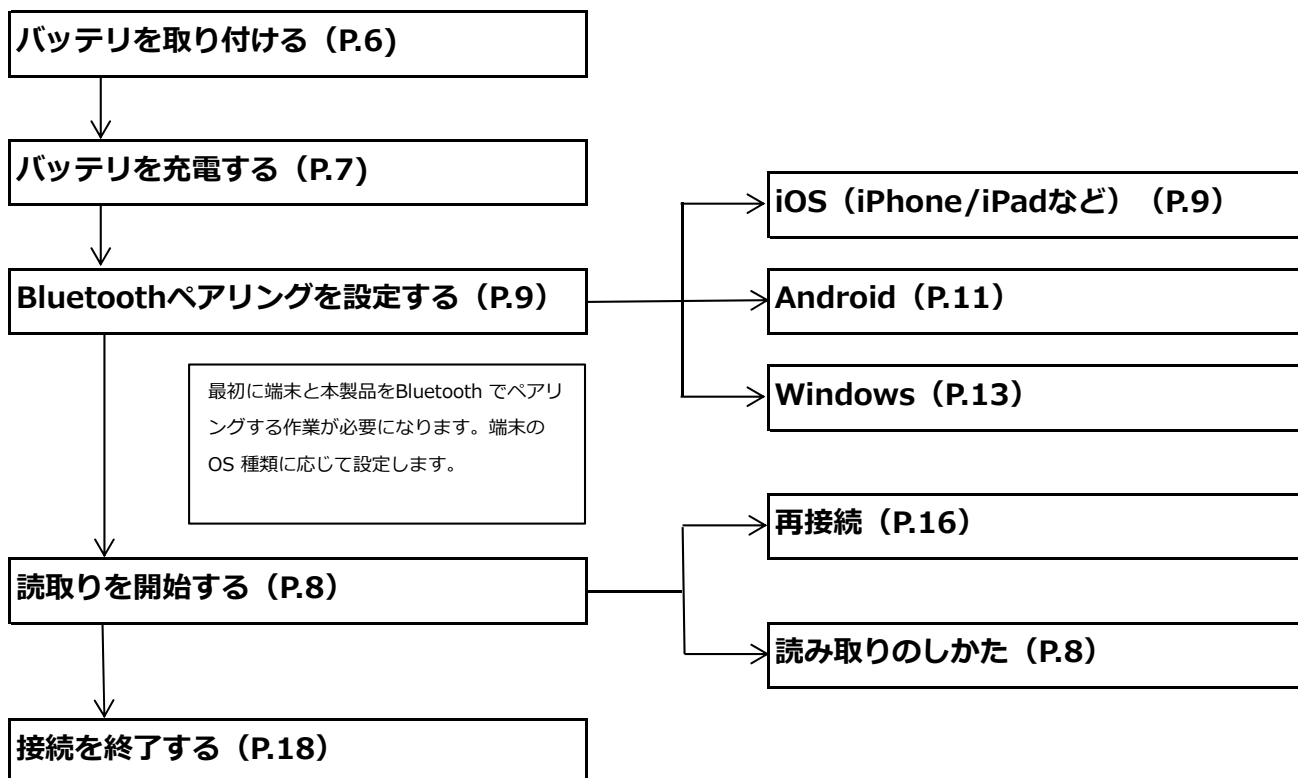
バーコードが隣接して読み取りにくい場合は「ピクリストモード」（P.22）に設定して読み取ってください。

## 目次

設定の手順	...	4	本体の機能設定	...	21
			■自動的に付加コードを送信する	...	21
各部の名称と機能	...	5	■ピックリストモード	...	22
			■ビープ音の設定	...	22
本体の使い方	...	6	■ビープ音の音程	...	23
■バッテリーの取り付けと取り外し	...	6	■読み取り成功時のビープ音	...	23
■充電のしかた	...	7	■バイブレータの設定	...	23
■バーコードの読み取りかた	...	8			
			バーコードに関する設定	...	24
接続のしかた(HIDキーボード接続)	...	9	■反転1D バーコードの読み取り設定	...	24
■ iPhone/iPad との接続	...	9	■ EAN/JAN の読み取り	...	25
■ Android との接続	...	11	■ UPC-A/UPC-E の読み取り	...	25
■ Windows との接続	...	13	■ Code39 の読み取り	...	26
■ クレードル経由	...	15	■ Code128 の読み取り	...	27
■ USBケーブル経由	...	15	■ NW-7 (Codabar) の読み取り	...	27
■ Bluetooth経由	...	15	■ DataBar の読み取り	...	28
			■ GS-1 コンポジットの読み取り	...	29
端末との再接続	...	16	■ 2D バーコードの読み取り	...	29
■ 自動再接続	...	16			
■ 接続端末の確認	...	17	付録 1 初期値で読み取れる	...	31
			主なバーコード一覧		
ペアリングの解除	...	18			
			付録 2 サンプルバーコード	...	32
バッチモード接続	...	19			
			付録 3 Q&A	...	35
			テンキーコード	...	36

## 設定の手順

本製品は、スマートフォン、タブレット、PC など（以下、端末）とBluetooth 通信を使って接続します。ご使用の接続先に対応した説明をお読みください。



### 各種設定

※バーコードの読み取りかたなど必要に応じて設定します。

- ・自動的に付加コードを送信する (P.22)
- ・ピックリストモード（照準ドットが当たっているバーコードだけを読み取る） (P.22)
- ・ビープ音の設定 (P.22) ・バイブレータの設定 (P.23)
- ・バーコードに関する設定 (P.24)

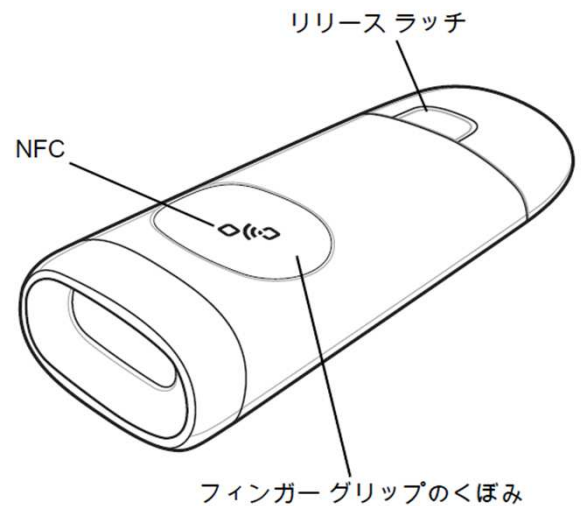
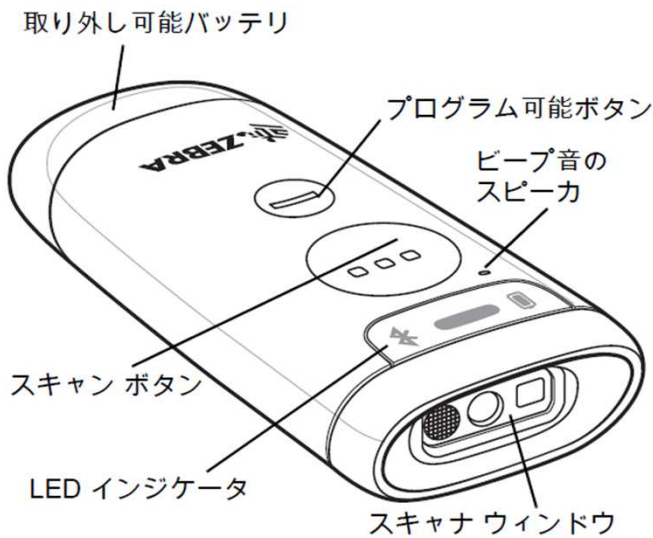
### ヒント

Bluetooth 通信を行わない場合は自動的にバッチモードになります。

詳しくは、バッチモード接続 (P.19) を参照してください。

## 各部の名称と機能

①スキャンボタン	読み取りを実行します。
②LEDインジケータ	端末とBluetoothの接続状態が表示されます。 スキャン結果が表示されます。 バッテリーの充電状態が表示されます。
③プログラム可能ボタン	トリガー等のキーが設定できます。
④スキャナウィンドウ	読み取り用の照準ドットが照射されます。
⑤バッテリー	バッテリーは脱着可能です。
⑥NFC（裏面）	NFC対応デバイスとのペアリングに使用します。
⑦リリースラッチ（裏面）	バッテリー取り外しに使用します。



## 本体の使い方

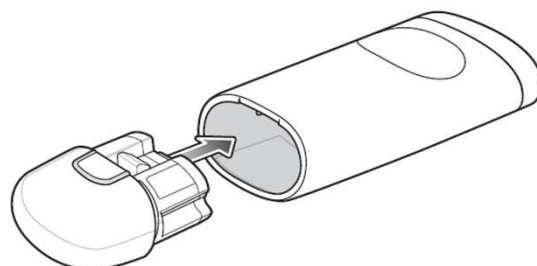
### ■ バッテリーの取り付けと取り外し

本製品を最初に使う時は、付属のバッテリーを本体にセットします。

#### ● 取り付け

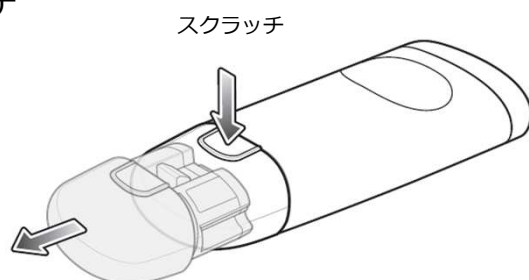
**1** バッテリーをスキャナに挿入します。

**2** バッテリーが所定の位置に収まるまで、  
バッテリーをスキャナに押し込みます。



#### ● 取り外し

**1** 本体裏面のスクラッチを押してバッテリーをスキャナ  
から引き出します。



## ■ 充電のしかた

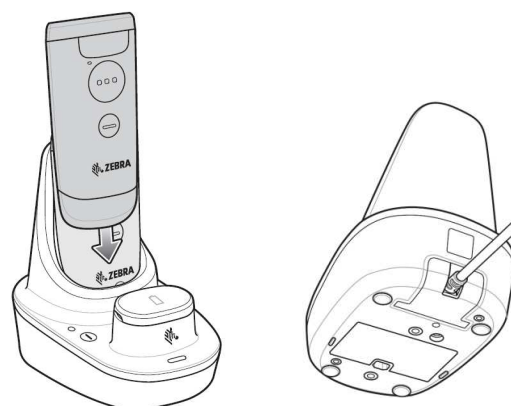
本体の充電には、クレードルと充電パッドを使う方法があります。

初めてお使いになる時は、十分に充電してから使用を開始してください。

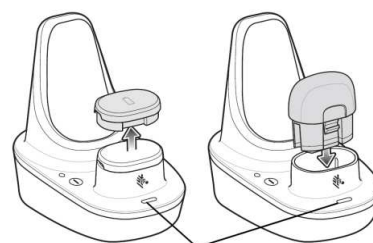
### ● クレードルによる充電

**1** クレードル背面のUSB-TYPE-CとパソコンのUSBに接続します。

**2** 本体をクレードルにセットします。  
バッテリーレベルキーが点灯すると充電状態が表示されます。



※予備のバッテリーを同時に充電することもできます。

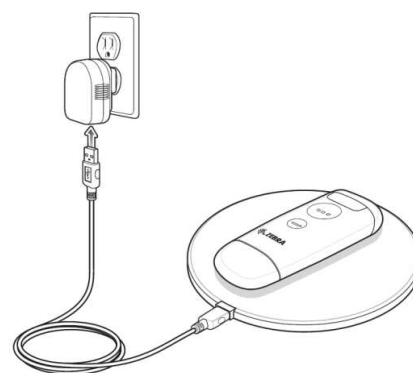


予備バッテリー充電状

### ● 充電パッドによる充電

**1** サードパーティの指示に従って、充電パッドを電源に接続します。

**2** ボタンを上に向けて、スキャナを充電パッドに置きます。  
バッテリーレベルキーが点灯すると充電状態が表示されます。

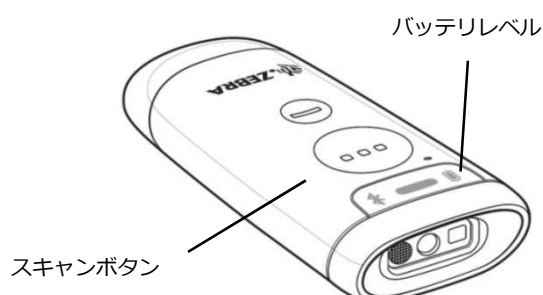


**!** コードレス構成にのみ適用されます。

CS6060はQiタイプの充電パッドとのみ互換性があり、サードパーティ製アクセサリを使用している場合の充電時間は保証できません。

### ● 充電レベルの確認

[スキャンボタン] を3秒間長押しすると、バッテリーレベルLEDに充電レベルが3段階で表示されます。



## ■ バーコードの読み取りかた

バーコードの読み取りかたを説明します。

- 1** 本体のスキャナウィンドウを読み取るバーコードに向けます。
- 2** 本体の「スキャンボタンを押して、照準ドットをバーコードの中央に合わせます。  
LED が緑色に点滅します。
- 3** 本製品がバーコードを認識すると、LED が緑色に点灯して「ピッ」という音と共にバーコードが読み取られます。



### ヒント

- ・読み取り時のビープ音の音量や音程は変更することができます。「ビープ音の設定」(P.22)を参照してください。

## 接続のしかた（HID キーボード接続）

本製品と端末をペアリングします。通常、ペアリングは最初に1回だけ行います。

### ■ iPhone/iPad との接続

iPhone を例に接続（ペアリング）の方法を説明します。

#### ヒント

- ・本製品にバッテリーを装着し充電しておいてください（P.7 参照）。
- ・本製品がスリープ状態の場合は [スキャンボタン] を押します。

- 1** 本製品で次のバーコードを順番に読み取ります。  
Bluetooth LED が点滅して接続待ち状態になります。

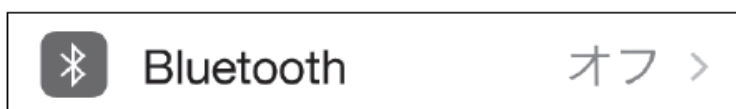


工場出荷時の設定に戻す



HID Bluetooth

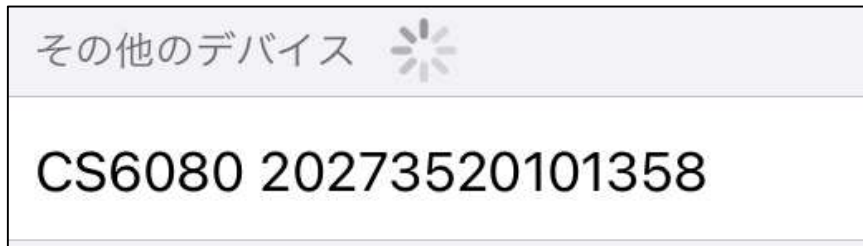
- 2** iPhone で [設定] → [Bluetooth] をタップします。



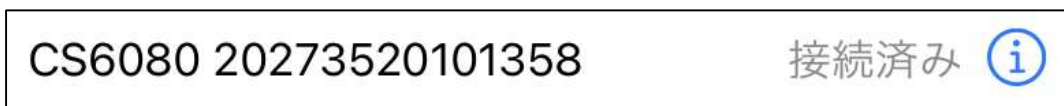
- 3** [Bluetooth] をON にします。



- 4** 「その他のデバイス」に表示される [CS6080 \* \* \*] をタップします。  
 ※「\* \* \*」部分はそれぞれの製品により異なります。



- 5** 本製品とiPhone がペアリングされて「接続済み」が表示されます。  
 続いて読み取りテストをして接続の確認をします。



- 6** iPhone ホーム画面で [メモ] をタップして起動したら、  
 [新規] をタップします。

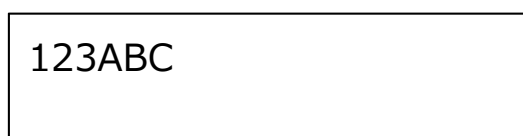


- 7** 本製品で次のバーコードを読み取ります。



123ABC

画面に次のように表示されれば接続は成功です。



## ■ Android との接続

Android8.0 を例に接続（ペアリング）の方法を説明します。

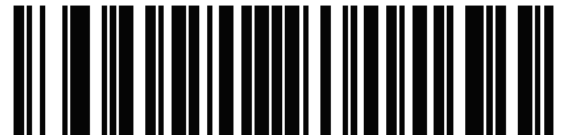
### ヒント

- ・本製品にバッテリーを装着し充電しておいてください（P.7 参照）
- ・本製品がスリープ状態の場合は［スキャンボタン］を押します。

- 1 本製品で次のバーコードを順番に読み取ります。  
Bluetooth LED が点滅して接続待ち状態になります。

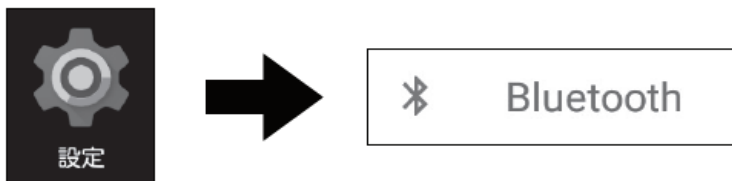


工場出荷時の設定に戻す



HID Bluetooth

- 2 Android 端末のアプリ画面で［設定］ → ［Bluetooth］ をタップします。



- 3 [Bluetooth] をON にします



- 4 「使用可能なデバイス」に表示される [CS6080 \* \* \*] をタップします。  
※ 「\* \* \*」部分はそれぞれの製品により異なります。



- 5** ペアリングが完了すると下記の画面が表示され本製品が使用可能になります。続いて読み取りテストをして接続の確認をします。

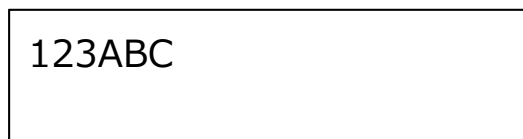


- 6** Android 端末で、メモ帳などのテキスト入力ソフトを起動します。

- 7** 本製品で次のバーコードを読み取ります。



画面に次のように表示されれば接続は成功です。



## ■ Windows との接続

Windows10 を例に接続 (ペアリング) の方法を説明します。

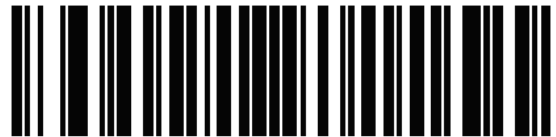
### ヒント

- ・本製品にバッテリーを装着し充電しておいてください (P. 7 参照)。
- ・本製品がスリープ状態の場合は [スキャンボタン] を押します。

- 1 本製品で次のバーコードを順番に読み取ります。  
Bluetooth LED が点滅して接続待ち状態になります。

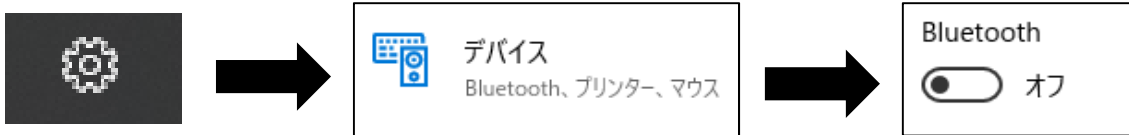


工場出荷時の設定に戻す



HID Bluetooth

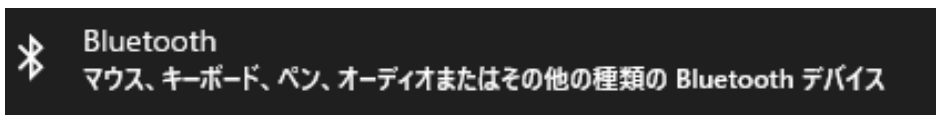
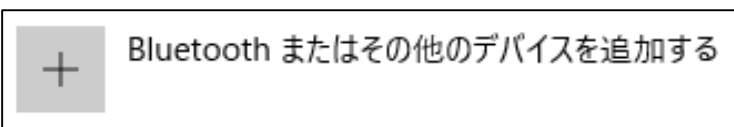
- 2 Windows スタート画面で [PC 設定] → [PC とデバイス] → [Bluetooth] をタップします。



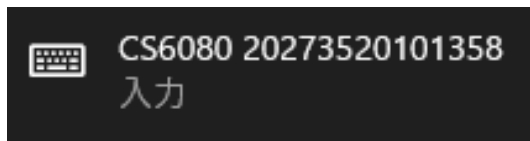
- 3 [Bluetooth] をオンにします。



- 4 「Bluetoothまたはその他のデバイスを追加する」をクリックします。  
「Bluetooth」をクリックします



- 5** [CS6080 \* \* \*] をタップします  
 ※「\* \* \*」部分はそれぞれの製品により異なります。



- 6** ペアリングが完了すると下記の画面が表示され本製品が使用可能になります。  
 続いて読み取りテストをして接続の確認をします。



- 7** アプリ画面で [メモ帳] をタップして起動します。

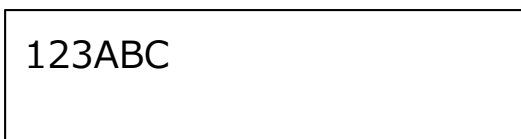


- 8** 本製品で次のバーコードを読み取ります。



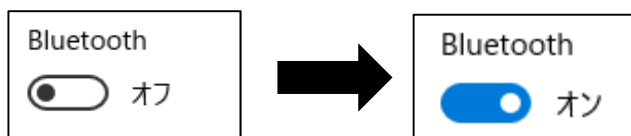
123ABC

画面に次のように表示されれば接続は成功です。



### ヒント

- ・ 設定済（接続情報がある場合）の端末に接続出来ない場合は、パソコンの Bluetoothをオフ→オンして接続を確認して下さい。



## ■ クレードル経由

読取ったデータがクレードルを経由してパソコンに表示されます。

クレードルがパソコンに接続されている事を確認して下さい。

本製品で次のバーコードを順番に読み取ります。



クレードル Bluetooth

クレードルにスキャナを置いてしばらくすると、BluetoothのLEDが青色に光れば接続終了です。

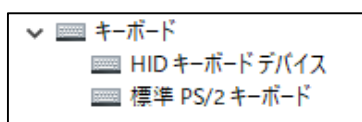
## ■ USBケーブル経由

USBケーブル経由にてパソコンに表示されます。

USBコンバータケーブルを接続して、パソコンのUSBに接続して下さい。

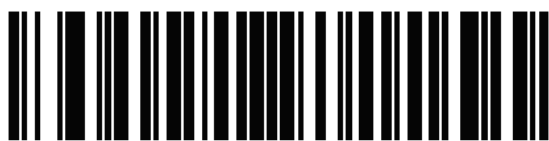
設定変更は不要で、そのまま使用が可能です。

データが読み取れない場合は、パソコンのデバイスマネージャーを確認して下さい、[HIDキーボードデバイス]が表示されていれば問題ありません。



## ■ Bluetooth経由

Bluetooth経由にてパソコンに表示されます。



HID Bluetooth

パソコンのBluetooth設定にて接続処理を行って下さい。接続情報が存在する場合は不要です。

P.13の「Windowsとの接続」を行って下さい

## 端末との接続

本製品には電源スイッチはありません。端末とのBluetooth 接続が切断された場合の復帰方法を説明します。

### ●自動再接続の設定

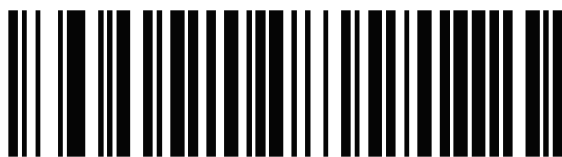
本製品を自動再接続に設定すると、切断した場合に一定時間、再接続処理を行います。再接続でも接続出来ない場合はエラーとなり、[スキャンボタン]を押すと再接続を行います。



\*自動再接続する

### ●バーコード読取にて再接続の設定

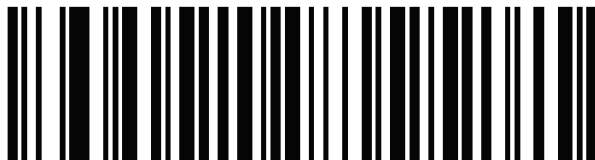
切断後、バーコードを読取ったタイミングにて再接続処理を行います。



バーコード読取後、再接続する

### ●再接続しない設定

上記の様に自動接続しない設定。



自動再接続しない

再接続を行う場合はクレードルに置くと再接続を行います。

## ヒント

- ・ Bluetooth接続の場合、再接続に時間がかかる為、1件目のデータ表示に時間がかかる場合があります。
- ・ Bluetooth接続の場合、「自動再接続しない」設定にすると、クレードルに置いてても再接続を行いません。  
再接続を行う場合は、P.15 の「Bluetooth経由」接続処理を行って下さい。

### ● 接続端末の確認

本体がどのクレードルと接続されているか、確認する事が可能です。

クレードルのボタンを押すと、該当する本体のLEDが点滅しビープ音がします。

エリア内にて本体が見えない場合にビープ音にて見つける事ができます。



クレードルのボタンを押すとリンク接続されている本体が反応します。

## ペアリングの解除

本製品とのペアリングを端末から解除するには、次の手順で行います。

### ● iPhone/iPad

- 1** iPhone 端末で [設定] → [Bluetooth] をタップします。
- 2** [CS6080 \* \* \*] の [!] をタップし [このデバイスの登録を解除] をタップします。  
※「\* \* \*」部分はそれぞれの製品により異なります。

### ● Android

- 1** Android 端末で [設定] → [Bluetooth] をタップします。
- 2** [CS6080 \* \* \*] の [\*] をタップし [切断] をタップします。  
※「\* \* \*」部分はそれぞれの製品により異なります。

### ● Windows

- 1** Windows 端末で [PC 設定] → [PC とデバイス] → [Bluetooth] をタップします。
- 2** [CS6080 \* \* \*] をタップし [デバイスの削除] をタップします。  
※「\* \* \*」部分はそれぞれの製品により異なります。

## バッチモード接続

本製品が接続エリア外になった時のバッチ処理を設定します。

バッチ処理と本製品に一時的にデータを保存し、接続可能となった場合にデータをパソコン側へ送信します。

送信データはファイルではなく、読取ったデータをそのまま送信します。

### ■バッチ処理を行わない

エリア外等にて切断をなつた時、再接続されるまでバーコードをスキャンしても送信エラーとなります。



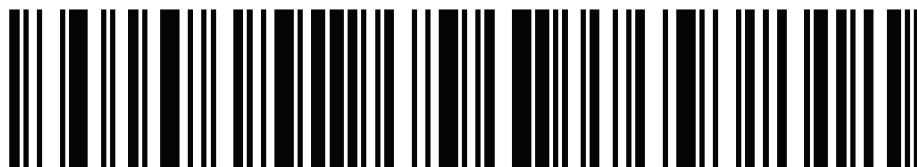
\*バッチモード解除

### ■再接続の自動送信

エリア内に入ると自動再接続を行いデータを送信します。



エリア内再接続



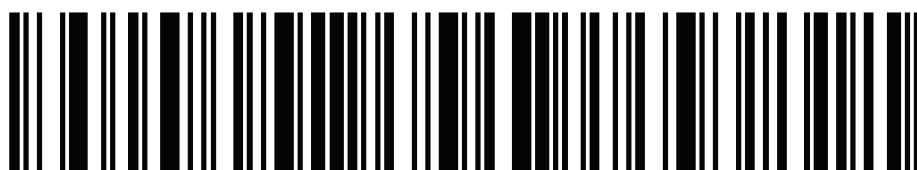
バッチモードの設定

## ■再接続の自動送信

データ送信バーコードを読取る事により、保存されたデータを送信します。



バーコード送信モード



バッチモードの設定

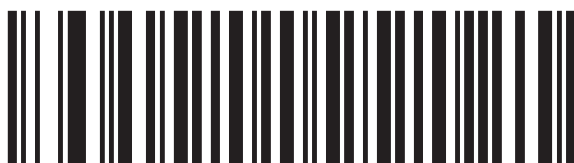
下記のバーコードを読取ると、本製品に保存されていたデータが送信されます



データ送信バーコード

## ■USBケーブルバッチモード

USBケーブル接続時のバッチモードで、下記のバーコードを読取ると本製品に保存されていたデータが送信されます。



バーコード送信モード

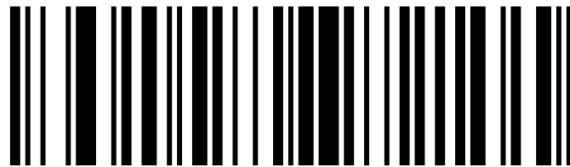
## 本体の機能設定

本体の機能などを設定します。次のバーコードを読み取って設定します。

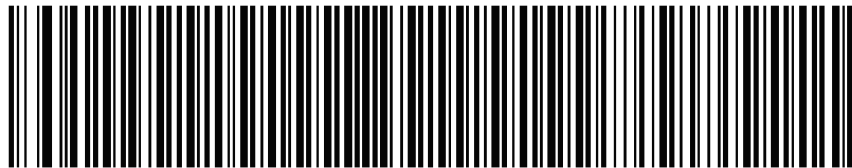
### ■自動的に付加コードを送信する

読み取ったバーコードデータを端末に送信する際に、改行コードなどを自動的に付加して送信することができます（初期設定は「付加コードなし」）。

#### ●付加コードなし



#### ● CRLF (ENTER) コードを付加する



#### ● TAB コードを付加する



## ■ピックリストモード

読み取りエリアに複数のバーコードがある場合、照準ドットが当たっているバーコードだけを読み取ります（初期設定は「常時無効」）。



常時有効



\*常時無効

## ■ビープ音の設定

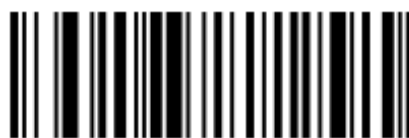
バーコードの読み取りを通知するビープ音の設定を変更します。

### ●ビープ音の大きさ

ビープ音量を設定します（初期設定は「大音量」）。



低音量



中音量



\*大音量

●ビープ音の音程

ビープ音の高低を設定します（初期設定は「中音」）。



低音



\*中音



高音

●読み取り成功時のビープ音

読み取り成功時のビープ音をオン／オフします（初期設定は「有効」）。



\*読み取り成功時のビープ音（有効）



読み取り成功時にビープ音を鳴らさない（無効）

■バイブレータの設定

読み取りが成功するとバイブレータが振動します（初期設定は「有効」）。



\*バイブレータを有効にする



バイブレータを無効にする

## バーコードに関する設定

読み取るバーコードの種類などを設定します。次のバーコードを読み取って設定します。

### ■反転1D バーコードの読み取り設定

「標準バーコードのみ」「反転バーコードのみ」「自動検出して標準／反転の両方」の設定ができます（初期設定は「標準」）。



\*標準



反転のみ



反転の自動検出

#### ヒント

「反転の自動検出」を設定すると、読み取り速度が遅くなる場合があります。

### ■全バーコードの読み取り

すべてのコードタイプを読み取れるように設定します。



すべてのコードタイプを有効にする



すべてのコードタイプを無効にする

#### ヒント

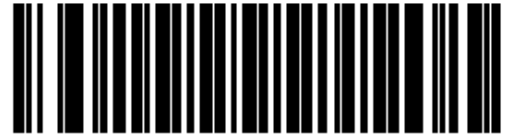
特定のコードタイプだけを読み取り可能にする場合は「無効」を設定した後、読み取り対象のコードタイプの設定バーコードを読み取ります。

## ■ EAN/JAN の読み取り

- EAN-13/JAN-13（初期設定は「有効」）

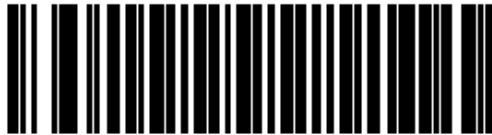


\*EAN-13/JAN-13を有効にする

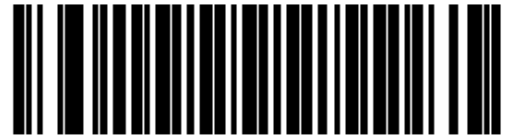


EAN-13/JAN-13を無効にする

- EAN-8/JAN-8（初期設定は「有効」）



\*EAN-8/JAN-8を有効にする



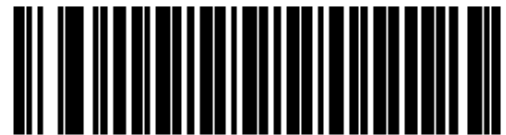
EAN-8/JAN-8を無効にする

## ■ UPC-A/UPC-E の読み取り

- UPC-A の有効化／無効化（初期設定は「有効」）

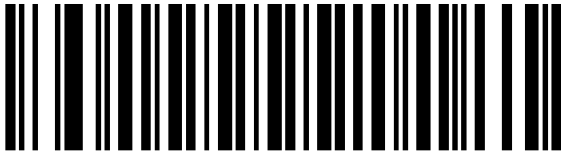


\*UPC-Aを有効にする

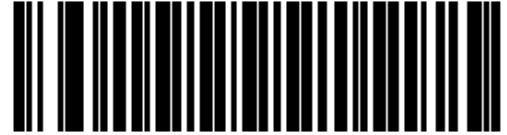


UPC-Aを無効にする

●UPC-E の有効化／無効化（初期設定は「有効」）



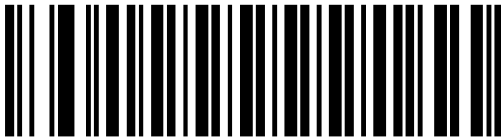
\*UPC-Eを有効にする



UPC-Eを無効にする

■Code39 の読み取り

●Code39 の有効化／無効化（初期設定は「有効」）



\*Code39を有効にする



Code39を無効にする

● Code39 のスタート／ストップキャラクタを転送する



転送する



\*転送しない

■ Code128 の読み取り（初期設定は「有効」）



\*Code128を有効にする



Code128を無効にする

■ NW-7（Codabar）の読み取り

● NW-7（Codabar）の有効化／無効化（初期設定は「有効」）

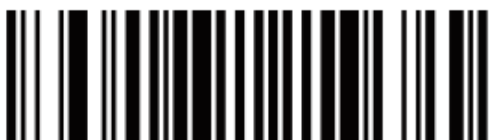


\*Codabarを有効にする



Codabarを無効にする

● NW-7（Codabar）のスタート／ストップコード転送設定（初期設定は「転送許可」）



\*転送許可



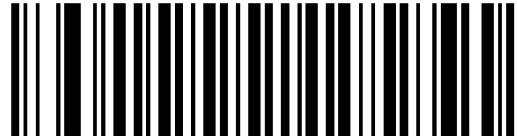
転送禁止

■ DataBar の読み取り

- GS1 DataBar-14 の有効化／無効化（初期設定は「有効」）



\*GS1 DataBar-14 を有効にする

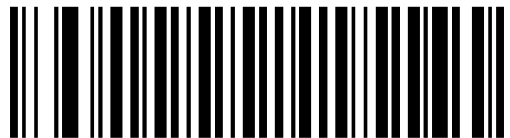


GS1 DataBar-14 を無効にする

- GS1 DataBar Limited の有効化／無効化（初期設定は「有効」）



\*GS1 DataBar Limited を有効にする



GS1 DataBar Limited を無効にする

- GS1 DataBar Expanded の有効化／無効化（初期設定は「有効」）



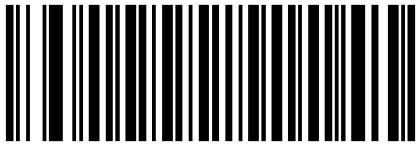
\*GS1 DataBar Expanded を有効にする



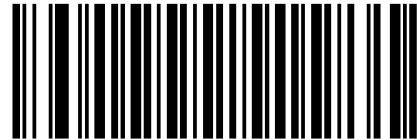
GS1 DataBar Expanded を無効にする

■ GS-1 コンポジットの読み取り

- CC-A/B の有効化／無効化（初期設定は「無効」）

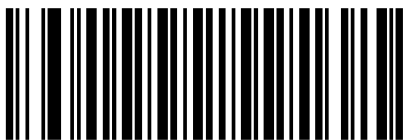


CC-A/Bを有効にする



\*CC-A/Bを無効にする

- CC-C の有効化／無効化（初期設定は「無効」）



CC-Cを有効にする



\*CC-Cを無効にする

■ 2D バーコードの読み取り

- QR コードの有効化／無効化（初期設定は「有効」）



\*QR コード を有効にする



QR コード を無効にする

● QR 反転読み取り設定

「標準バーコードのみ」「反転バーコードのみ」「自動検出して標準／反転の両方」の設定ができます（初期設定は「標準」）。



\*標準



反転のみ



反転の自動検出

**ヒント**

「反転の自動検出」を設定すると、読み取り速度が遅くなることがあります。

● DataMatrix の有効化／無効化（初期設定は「有効」）



\*Data Matrix を有効にする



Data Matrix を無効にする

● PDF417 の有効化／無効化（初期設定は「有効」）



\*PDF417 を有効にする



PDF417 を無効にする

## 付録1 初期値で読み取れる主なバーコード一覧

コード名	初期設定
EAN/JAN	○
UPC-A/UPC-E	○
Code128	○
Code39	○
Code39 スタート/ストップ	転送しない
ITF	○
ITF 桁数	6～5 5桁
Data Matrix	○
NW-7	○
NW-7 桁数	4～5 5桁
NW-7 スタート/ストップ	大文字で転送
GS-1 DataBar (GTIN)	○
GS-1 コンポジット	初期値ではNG
QR コード	○
Micro QR	○

## 付録2 サンプルバーコード

● UPC-A



● UPC-E



● EAN-13



● EAN-8



● Code39



● Codabar (NW-7)



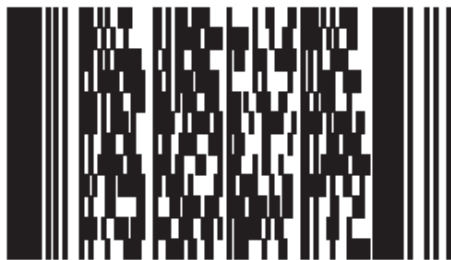
● Interleaved 2 of 5



● GS1 DataBar-14



● PDF417



● Data Matrix



● QR コード



## 付録3 Q&amp;A

バッテリーを取り付けたい	P.6
バッテリーを充電したい	P.7
初期化（工場出荷時の設定）したい	P.9,11,13
iPhone/iPad 端末と接続したい	P.9
Android 端末と接続したい	P.11
Windows 端末と接続した	P.13
無線が切れた場合にも簡単に再接続したい	P.16
リンクしている端末とクレードルを知りたい	P.17
端末とのペアリングを解除したい	P.18
ENTER やTAB コードを一緒に送信した	P.21
密集したバーコードの中で目的のバーコードだけを読み取りたい	P.22
ビープ音の大きさを調整したい	P.22
ビープ音の音程を調整したい	P.23
読み取り成功のビープ音を消したい	P.23
バイブレータ機能を有効にしたい	P.23
白黒の反転したバーコードを読み取りたい	P.24,30
初期設定で読み取れるバーコードの種類を知りたい	P.35

## テンキーコード

ペアリング時に要求されるペア設定コードやパスコードは、該当する数字バーコードを読み取り、最後に「Enter」バーコードを読み取って入力します。



0



1



2



3



4



5



6



7



8



9



Enter



キャンセル

2021年2月 第1版